

# 除菌作業 オフィス編



使用液剤：パナセア 50 p p m – 200ppm  
使用機器：パナセアドライフォガー

## 検査方法：ATPふきあげ検査測定

**ATP測定法**（ATPそくていほう）とは、すべての生物の細胞内に存在するATP（アデノシン三リン酸）を酵素などと組み合わせて発光させ、その発光量（Relative Light Unit ; RLU）を測定する方法のことである。

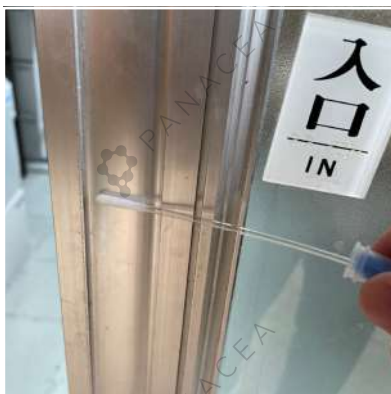
細胞内の存在するATPは、酵素であるルシフェラーゼなどと反応させることにより発光する。この発光量はATP量が多いほど発光量（Relative Light Unit ; RLU）が増す。この方法を利用して、外食産業や医療機関などでは器具の汚染調査、清浄度調査などに利用されている。これは、細菌や残渣などの汚染物質が残っているとATPが存在し、発光することによりモニタリング法として適切な衛生管理が行うことができるとされている。なお、この検査方法は、厚生労働省監修の「食品衛生検査指針微生物編2004」にも掲載されている。

# 1 ATPふきあげ検査による数値化



普段から左図の加湿器にパナセアを入れ使用している事務所のため人が多く出入りするところにしては事務所内机、デスクトップパソコンのキーボードからも120RLUの状態が保てていた。

但し加湿器の射程外や外からの出入り口マットからは多くの生菌が計測された。



# 1 ATPふきあげ検査による数値化②



## 2 除菌作業方法

### 手順①

- ドライフォガートスプレーを使い、万遍なく全体に噴霧。
- 噴霧時間や面積は噴霧目安表を参照してください。
- 共有で使う部分に関しては特に念入りに除菌が必要です。

### 手順②

- ウェス等を使いふきあげ
- 噴霧がいきわたらない所はスプレータイプの液剤も使いふきあげ
- 噴霧だけでも十分に効果が検証できるが、よく手の触れる部分は十分にウェスにパナセアを湿らせ拭き上げをすることでさらに効果が得られることが検証できました。

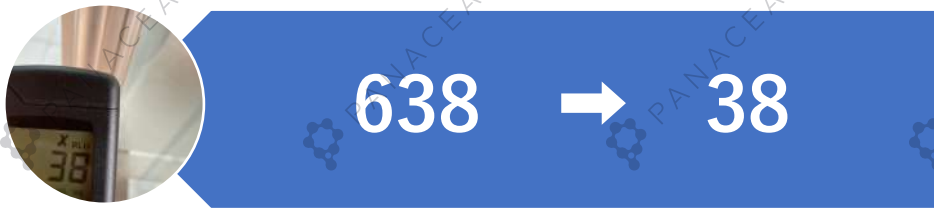
ドライフォガーを使用した面積に対する噴霧時間・使用量目安

坪数	量数	平米数 (m <sup>2</sup> )	噴霧時間	噴霧量
1坪	約2量	3.31m <sup>2</sup>	20秒	50ml
3坪	約6量	9.93m <sup>2</sup>	40秒	100ml
5坪	9.98量 (約10量)	16.52m <sup>2</sup>	1分20秒	200ml
10坪	19.96量 (約20量)	33.05m <sup>2</sup>	2分40秒	400ml
15坪	29.94量 (約30量)	49.58m <sup>2</sup>	4分00秒	600ml
20坪	39.92量 (約40量)	66.11m <sup>2</sup>	5分20秒	800ml
25坪	49.90量 (約50量)	82.64m <sup>2</sup>	6分40秒	1000ml
30坪	59.88量 (約60量)	99.17m <sup>2</sup>	8分00秒	1200ml
35坪	69.86量 (約70量)	115.70m <sup>2</sup>	9分20秒	1400ml
40坪	79.84量 (約80量)	132.23m <sup>2</sup>	10分40秒	1600ml
45坪	89.82量 (約90量)	148.76m <sup>2</sup>	12分00秒	1800ml
50坪	99.80量 (約100量)	165.28m <sup>2</sup>	13分20秒	2000ml
55坪	109.78量 (約110量)	181.81m <sup>2</sup>	14分40秒	2200ml
60坪	119.76量 (約120量)	198.34m <sup>2</sup>	16分00秒	2400ml
65坪	129.74量 (約130量)	214.87m <sup>2</sup>	17分20秒	2600ml
70坪	139.72量 (約140量)	231.40m <sup>2</sup>	18分40秒	2800ml
75坪	149.70量 (約150量)	247.93m <sup>2</sup>	20分00秒	3000ml
80坪	159.68量 (約160量)	264.46m <sup>2</sup>	21分20秒	3200ml
85坪	169.66量 (約170量)	280.99m <sup>2</sup>	22分40秒	3400ml
90坪	179.64量 (約180量)	297.52m <sup>2</sup>	24分00秒	3600ml
95坪	189.62量 (約190量)	314.04m <sup>2</sup>	25分20秒	3800ml
100坪	199.60量 (約200量)	330.57m <sup>2</sup>	26分40秒	4000ml

※何もない空間で床・壁・天井の6面でのあくまで目安の参考数値となります。

### 3 除菌作業検証結果

- 共有部分は生菌が増えやすく特に念入りに、こまめな除菌が必要と感じられました。
- 普段から加湿器の中にパナセアを入れて風向きを考えての噴霧の有効性も特に感じられました。
- 使用液剤のエビデンス（次ページQRコード参照）のとおり臭いも無くなり清潔に保たれました。



#### 参考判定基準

全般		
ATP 表面清浄度レベル (RLU)		
Level	SystemSURE Plus® & Ultraspap™	
I	極めて清浄	0-10
II	とても清浄	11-30
III	普通	31-80
IV	やや汚い	81-200
V	汚い	201-500
VI	とても汚い	501-1000
VII	極めて汚い	1001-

食品・飲食			
検査基準例	SystemSURE Plus®	Ultraspap™	
検査対象	合格	不合格	
ステンレス表面	<10	>20	
樹脂製表面	<10	>30	
ナイフ・包丁	<10	>20	
まな板	<20	>40	
フードコンテナ・タッパー容器	<10	>20	
食器トレイなど	<10	>30	
シンク (流し)	<10	>30	
手洗い後の手指	<60	≥60	

医療現場			
判定基準例	SystemSURE Plus®	Ultraspap™	
検査対象	合格	不合格	
コンタクトポイント (一般区域)	<100	>200	
(清潔区域・医療区域)	<50	>100	
蛇口	<25	>50	
洗面台	<25	>50	
医療用の器具・鋼製小物	<10	>20	
ウォッシュ・ディスインフェクタ	<5	>10	
内視鏡	<5	>10	
調理器具・配膳食器等	<10	>30	

## 4. 注意事項

- 使用後に白く粉のようなものが残る場合は水拭きまたは空拭きでふき取ってください。
- 消臭に関しては、素材そのものの匂いは消えません。匂いの発する物質その物を取り除いてください。
- 他製品との混合は一切行わないでください。
- 目に入った場合は水で洗い流してください。
- 口に入った場合は水を飲み希釈してください。
- 各種エビデンスは下記QRコードからご参照ください。

### パナセアのエビデンス



パナセアは皆様に安心してお使いいただくために、様々な効果試験を行っております。  
また、パナセアは通常 200ppm で製造しておりますが、皆様に安心してお使いいただくために、1,000ppm という高濃度での安全性の試験を行っております。除菌試験に関しましては、その半分の 100ppm でテストしています。

#### 安全性のエビデンス



眼刺激性試験



気管内投与による  
急性毒性試験



急性吸入毒性試験



皮膚一次刺激性試験



急性経口毒性試験

#### 効果のエビデンス



ウイルス不活性化試験



12種類の除菌効果試験



スミ花粉 / ダニアレルゲ  
ン低減効果試験